

環境ホルモン研究最前線
有害化学物質から子どもたちを守る 学習会

プラスチック由来の内分泌かく乱化学物質と 子どもの健康

ー環境と健康に関する北海道スタディの結果から

内分泌かく乱物質(いわゆる環境ホルモン)は、日本ではほとんどニュースになっていませんが、生態系や人、とくに子どもの発達や生殖系への悪影響について科学的な知見が蓄積しており、欧米では規制が厳しくなっています。一方、日本では放置されたままで、子どもや生殖系への影響が懸念されています。

2001年から実施されている環境と子どもの健康に関する北海道スタディでは、環境化学物質へのばく露と子どものアレルギー、発育、二次性徴との関連に関する研究を実施し、多くの研究報告が発表されています。

今回、この北海道スタディや、室内環境と居住者のアレルギーについて実際に研究されてきた北海道大学の池田敦子教授に、プラスチック由来の内分泌かく乱物質の子どもへの影響についてお話し頂くことになりました。

池田先生には、昨年有機フッ素化合物PFASが実際に妊娠中母体血に検出され、次世代への悪影響についてお話し頂きました。今回は比較的分解しやすい化学物質(短半減期化合物)である、ビスフェノール類、フタル酸エステル類、有機リン系難燃剤を中心に、子どもへのばく露状況と有害影響についてお話し頂きます。



2023年 1月14日 (土)
午後2時~4時



新型コロナ感染予防対策のため
Zoomウェビナーでライブ配信



無料

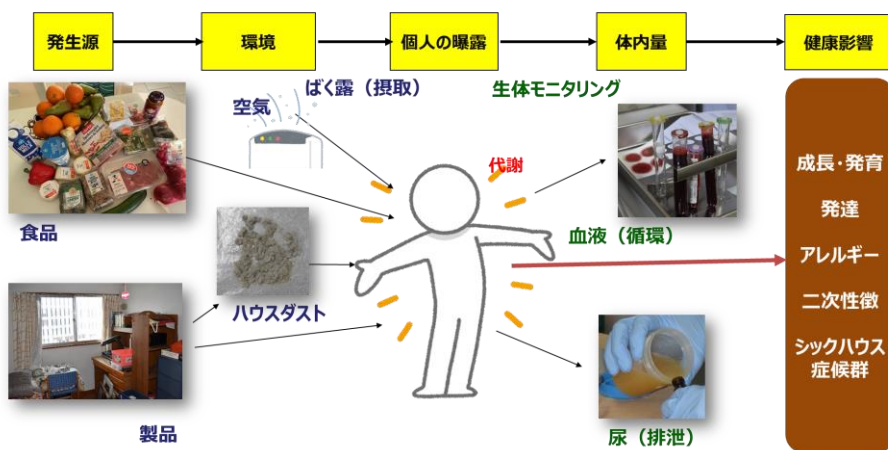
参加ご希望の方は、
メール (kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp)
でお申し込みください。ウェビナーのライブ配信URL
をお知らせします



池田敦子先生

北海道大学大学院保健科学研究院 教授
環境健康科学研究教育センター 兼務

環境と健康



お問い合わせ お申込み

<https://www.hs.hokudai.ac.jp/archives/staff/28125/>より

このセミナーは2022年度
地球環境基金の助成を受けて開催されます。

NPO法人ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議

〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4階
Tel.03-5875-5410 Fax.03-5875-5411
Homepage: www.kokumin-kaigi.org
Email: kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp